

CAMPUS 八戸学院

vol.41

八戸学院 NEWS <CLOSE UP!>

八戸学院大学 新学部名称スタート

学びの時間

八戸学院光星高等学校専攻科

介護福祉科

八戸学院光星高等学校

保育福祉科・福祉コース

八戸学院大学 新学部名称スタート



「変わり続ける」という変わらない信念が未来を創る

「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのではない。唯一生き残るのは、変化できる者である」
 ダーウィンの言葉とされているが真偽定かではない。しかし、我々現代社会の激変する環境の中で私学を営むものには心に刻み付けるべき真理であろう。

志高い建学の精神は変わらないが、教育事業は対価を得る以上経済の論理に左右される教育サービス業であり、時代とともに求められる教育、地域からの期待、産業構造の変化からの新たな人材像は刻々と変わり続ける。

商業人の育成から幅広い時代に即したビジネスリーダーの育成を担う



大谷 真樹
八戸学院大学 学長

ビジネス学部。10年以上前に幅広く人間と健康に目を向け先駆的であった人間健康学部。そして、私たちは地域が求めるより高度な医療人材の育成を加えて期待されている。今後増える福祉系の人材育成への期待と併せ、まさに「命の世紀」を支える人材を総合的に育て上げる事が望まれ、そこに私たちが提供する経済的な付加価値がある。この時代を睨んだ進取の取り組みにこそ、私たち地域の総合私学の存在意義がある。新たな健康医療学部は、これからもより高度な教育を目指し進化しなければいけない。また、医療・健康・福祉は全て未来の産業でもあり横断的に学び地域のビジネスとしても貢献出来る分野でもある。

高校と専攻科の福祉関連の教育も含め「命の世紀」を担う総合的な教育を目指し、法人一体となって変化を先取りして常に変化し続けて行きたい。

CONTENTS

- 2 読書のススメ
- 3 八戸学院 NEWS<CLOSE UP! 1>
- 4 八戸学院 NEWS<CLOSE UP! 2>
- 6 学びの時間
八戸学院光星高等学校専攻科（介護福祉科）
八戸学院光星高等学校（保育福祉科）
- 8 八戸学院 NEWS／イベント情報
- 14 八戸学院 NEWS<CLOSE UP! 3>
出会いと別れ～希望の春～
- 16 職員ファイル
- 17 同窓生の広場
- 18 理事長散策
- 20 HACHINOHE GAKUIN CAMPUS SPOT
万作・満作



詩集 春のスケッチ

著者：久保 仁

私は、二十代半ばから詩を書き始めて、もう四十年近くになります。詩作の良いところは、他の趣味や習い事に比べて、一つの作品を書きかけている途中で、仕事が忙しくなっても中断せざるを得ない場合でも、それが可能なことです。却って、詩作を忘れる時間を置いた方が、自分が創作しようとしている内容を、別な視点から見直す時間が取れるので、結果的に良い効果が生まれる場合があります。小説や絵画などは、長期間に渡って、一つの作品に取り組まなければならないものであり、創作の途中で中断すると完成までたどり着けないのだらうと想像しています。私は、宮沢賢治ファンの一人ですが、自分でも科学用語を詩の言葉として使った詩を書いてみたいと思い、書き続けてきました。そして数年前に、それ以外の叙情的な詩も含めて、詩集「春のスケッチ」を自費出版しました。短大の学生に自作の詩を朗読してきかせると、科学用語を使った詩よりも恋愛詩や春を扱った詩が好評のようです。もし、詩に興味がある方がいらっしゃったらお声掛けください。あなたに新しい感動をお届けできるのではと思っています。



大久保 等
八戸学院短期大学
ライフデザイン学科 教授

CAMPUS 八戸学院

vol.41



表紙

今年も美保野キャンパスは満開の桜で新年度を迎えました。

建学の精神
「神を敬し、人を愛する」
カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚な人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。（寄付行為 第3条）



八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館は「地域に開かれた大学図書館」として、地域住民の方も無料でご利用いただけます。

- 八戸学院大学 TEL 0178-25-2711
- 八戸学院短期大学 TEL 0178-25-4411
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学
地域連携研究センター TEL 0178-25-2789
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学
図書館 TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校 TEL 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校専攻科 TEL 0178-25-6322
- 八戸学院野辺地西高等学校 TEL 0175-64-4166
- 八戸学院短期大学附属幼稚園 TEL 0178-34-5765
- 八戸学院短期大学附属幼稚園
聖アンナ TEL 0178-45-3670
- 八戸学院短期大学附属幼稚園
第二しのめ TEL 0178-25-2488

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

八戸学院大学人間健康学部は、4月から健康医療学部に変更され、
八戸学院は、21世紀を「命の世紀」と位置づけ医療・健康・福祉・食の学問領

既存の人間健康学科に看護学科が加わり新たなスタートを切りました。
域充実を目指します。

八戸学院大学 健康医療学部 看護学科 新しく始まる大学における看護の学びを

看護職は健康の増進を目指して人々を助ける職業です。赤ちゃんからお年寄りまで、人の生涯のあらゆる時期において、人々の生活と健康にかかわる仕事です。そのために看護学科では、豊かな知性と感性を育み、確かな看護技術を身に付け、日本の保健医療福祉の分野が目指す発展と方向性を理解し、その役割を果たすのにふさわしい看護職の育成を目指します。青森県および県南地方の地域的特性である美しく広大な自然環境、厳しい自然条件、県民の特徴的な生活習慣と健康状態、県の医療供給体制などを理解し、地域医療に貢献する実践能力を身に付けた看護職を育成します。新しく始まる大学における看護の学びを、学生と一緒に充実させようと意気込んでいます。



蛭田 由美
八戸学院大学
健康医療学部 看護学科長

八戸学院大学 健康医療学部 命の世紀 ～健康医療学部の第一歩～

健康に関する知識を、医学・看護・心理・栄養・福祉・環境・スポーツなど幅広い分野の連携のもとに総合的に学び、各々の個性に合わせて専門性を高めることで資格・免許を取得する、これが本学部の特色です。社会のニーズによって生まれた人間健康学部が着実に成長し、地域に浸透してきた結果としての新たなスタートであることを自覚して、進化した姿を周囲に示していきたいと思っています。人間健康学科と看護学科、両学科の教員・学生が一緒になって、健康調査、健康づくり事業、公開講座などの地域貢献活動をより充実させるとともに、グローバルな視野と地域に根ざした視点をもって社会に貢献できる「健康医療人」育成を目指していきます。



遠藤 守人
八戸学院大学
健康医療学部 学部長
人間健康学科長



看護学科 授業風景（イメージ）



大学看護学科 第一期生



健康医療学部人間健康学科 授業風景



— 高大連携 —
上級学校でさらに
高い知識と技術を学ぶ
福祉コース

学びの時間

八戸学院光星高等学校
保育福祉科

「人のためになる仕事がしたい」という志を立てて 「希望」「感動」「可能性」を合言葉に！

福祉コースで学ぶ生徒たちを紹介します。
「ふくし」の新3Kと言われる、「希望」「感動」「可能性」を合い言葉に、一般科目は勿論、実習を含めた専門科目の学習に取り組んでいます。

高校卒業後は、専攻科、八戸学院大学に進学してより高い知識と即戦力を研ぎ介護福祉士等の資格を取得。更には、介護職にとどまらず、様々な「福祉」の現場で活躍することを希望する生徒も増えています。

専攻科や八戸学院大学の先生方による「介護職員初任者研修」の特別講義と体験授業、美保野キャンパスの大学施設見学を通して、高大連携強化で福祉のエキスパートとして活躍できる人材の育成に努めています。



3年 柳町 真生（湊中学校出身）

私の祖母は、認知症のため特別養護老人ホームに入所していました。その祖母に会いに行くたびに施設で働く職員の方々の仕事ぶりに惹かれ、いつしか介護の仕事に魅力を感じるようになり、高校も福祉コースのある光星高校を選びました。卒業後は介護福祉士になるために専攻科に進学し更に専門的なスキルを身につけ、将来は人の役にたてるように頑張りたいです。



3年 新堂 麻衣（堀口中学校出身）

介護の仕事はきつくて辛いと聞きますが、その分やりがいのある仕事だと思っています。私の将来の夢は介護福祉士になってお年寄りや障害のある人たちに笑顔になってもらうことです。専攻科で介護福祉士の資格を取得し、夢の実現に向けて頑張りたいです。更に高度な設備や教材で学ぶことができるということなので今から楽しみです。

“おもてなしの心”を育てる。
介護福祉科

時代が求める介護福祉士を養成するために、長年培ってきた経験を活かして、分かりやすい授業を教員が丸手となって指導にあたっています。今回はその取り組みを紹介します。

学びの時間

八戸学院光星高等学校専攻科
介護福祉科

介護福祉は、日々の関わりを通して、自分の人間的成長が促される事で、常に自分の心と向き合うことができる意義深い仕事です。

介護福祉科では、一般教養をはじめ高齢者、障がい者に関する事など、介護福祉に関する知識と技術を学びます。

また、豊かな人間性を養い日常生活を支援する専門職として、福祉の担い手である心の通ったスペシャリストを育てます。



取組み 1

「医療的ケア」を学び、基礎力を身に付けることで、就職して即戦力となっています。



取組み 2

救急法の正しい知識と技術を有する者として、地域や職場において冷静な判断と誠実な態度でリーダーシップを発揮する能力を養います。



取組み 3

校内演習での「知識」「技術」の習得が介護実習の現場において、実践へと繋がります。



2年 石橋 菜々子
(八戸商業高校卒業)

専攻科では、豊かな人間性を養うために、様々な行事を通して“おもてなし”の心を育む取り組みをしています。おもてなしをする側と受ける側の両方の経験することで相手の立場になって考える力を身につける事ができます。おもてなしの心は実習や、将来働く現場で役立ち、利用者主体の介護に繋がっていくと思います。

さらに専攻科は設備環境が整っており、基礎的な知識や技術をしっかりと学ぶことができます。何か不安があっても親身になって相談に乗ってくださる先生方もいます。

介護に少しでも関心がある方は、専攻科で学び、社会に貢献できる介護福祉士を目指しませんか？

イベント情報 平成28年5月～8月

八戸学院大学・八戸学院短期大学

▼オープンキャンパス
7/23(土)10:00～13:00



- 学科説明
- 体験授業
- 施設見学
- 中学生向けプログラム
- 保護者向けプログラム ほか
- クラブサークル紹介
- 個別相談
- 在学生フリートーク

オープンキャンパスのお申し込み詳細は、下記にお問い合わせください。

八戸学院大学・八戸学院短期大学
キャリア支援課 TEL.0178-30-1700

八戸学院短期大学

▼第46回八戸小唄流し踊り
7/15(金)17:30～
会場：八戸市中心街



地連研

教育・研究・社会貢献後援会主催 「ヘルスケアに関する公開講座」[3/9]

八戸パークホテルにて八戸学院大学・八戸学院短期大学 教育・研究・社会貢献後援会主催の公開講座を開催し、約50名の方にご参加いただきました。今回は抗加齢認定医で地域連携研究センター客員教授の宮田恵先生を講師にお迎えし、ご講演いただきました。宮田先生は、病気を未然に防ぐ予防医学の重要性を強調されました。続いて、地域連携研究センターの大谷センター長(八戸学院大学 学長)は、宮田先生と共に産学連携で抗加齢医学に基づいたヘルスケア新産業を立ち上げ、北東北の健康増進に寄与し、地域課題を解決する取組みの説明をしました。



大学

ラグビー部 東北地区リーグ「ベスト15」に9名選出



2015年度より東北地区大学ラグビーリーグ1部に昇格し、リーグ戦全勝優勝を果たしたラグビー部の選手が、2015年度のリーグ戦ポジション別優秀選手「ベスト15」に選出されました。

この「ベスト15」とは、東北地区大学ラグビー連盟理事会において東北地区大学ラグビーリーグ戦のポジション別に優秀選手を選出するものです。

3月に卒業した4年生部員6名全員を含む9名が選出され、3月12日(土)に開催されたラグビー部納会の席で工藤監督より賞状とメダルが渡されました。受賞者の菱谷翔成さん(ビジネス学部4年)は「とても光栄なことであり、評価されたことを誇りに思います。2016年度はリーグ連覇を目標に頑張っていきたい」と喜びを噛みしめるとともに、今シーズンへの抱負を述べました。

2016年度の活躍にも期待しましょう。

大学

夢への第一歩 ～女子サッカー部スペイン留学～

女子サッカー部の学生4名が、サッカーの本場、スペインに1ヶ月間短期留学しました。

2月上旬の先発組、3月上旬の後発組に分かれて出発し、それぞれ約1ヶ月間、現地に滞在しました。現地では語学学校に週5日通い、スペイン語を中心に勉強。サッカーの練習も週5日行われ、地元のクラブチームの練習に参加して技術力の向上を図りました。

言葉はもちろん、生活リズムやスペイン人の気質などは日本人と大きく違い、現地で生活を始めた当初は戸惑いもありましたが、分からないことは自分から積極的に質問したり、身振り手振りを交えて伝えたいことを表現するなど自分自身で考える力や積極性を養い、大学生として、そしてサッカー選手として成長できました。

他にも、スペイン料理を堪能したり、FCバルセロナの試合観戦、観光地を周遊するなど異文化に多く触れる機会があり、それぞれの夢や目標を目指す気持ちが更に高まった留学となりました。



地連研

八戸学院スポーツ教室を開催しました [2/20]



八戸学院大学体育館にて、地域連携研究センター初の試みとなる「八戸学院スポーツ教室」を開催しました。

八戸市在住の幼児・小学生(男女5歳～12歳)を対象に、将来の運動能力向上に役立つ経験をして、楽しくスポーツに触れてもらうことを目的に開催し、134名の子どもたちにご参加いただきました。今回は、「サッカー」「ラグビー」「バスケットボール」「トランポリン」の4種目を体験するプログラムを組んでおり、保護者も体験できるプログラムも用意しました。講師は、八戸学院短期大学幼児保育学科講師の川端 悠先生や八戸学院大学ラグビー部の山下 祐史ヘッドコーチ、八戸学院大学女子サッカー部の畑中 孝太監督などが務め、特別講師としてラグビー現役トップリーガーの土佐 誠選手(NECグリーンロケッツ所属)にお越しいただきました。運営のサポートとして、各競技団体スタッフや多くの大学・短大の学生(幼児保育学科 川端ゼミ生、女子サッカー部、ラグビー部等)にも協力してもらい、盛況のうちに終了することができました。

図書館

本が復活！図書館アナスタシス文庫



図書館に平成25(2013)年4月より古本を自由に持ち帰れる「アナスタシス文庫」が設置されてある。

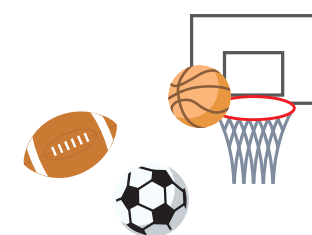
「アナスタシス」とは、ギリシャ語で「復活」を意味し、寄贈を受けたものの、すでに本館で所蔵してあるなど本館の蔵書となりえなかった本たちに再び日の目をみさせるためにという想いで名付け設置したコーナーである。

このコーナーにある本は、小説から経営、経済、心理学等の専門書や各出版社の新書、雑誌などで、中には掘り出し物があるらしく、人気のコーナーとなっている。置かれてある本には値段がなく、欲しい人が自由に値段を決められる仕組みで、集まったお金は援助団体への寄付等に使われ、2013年と2015年に【国境なき医師団】より感謝状を頂いた。



八戸学院 NEWS

平成28年
2月～4月



光星高 卒業記念講演 [2/22]



カンボジアからの留学生で平成24年度に卒業したタン・チェンターさんを講師に卒業記念講演会が開催されました。母国カンボジアでの、地雷の危険と背中合わせの生活や地雷撤去、彼女が光星高校で学ぶきっかけとなった高山良二氏との出会いを紹介。常に前向きに夢に向かって歩む彼女の、心に残る言葉が随所にちりばめられた素晴らしい講演に、生徒たちも明日への希望を新たにした貴重な時間でした。



光星高 創立60周年記念講演会 [4/25]



本校体育館にて創立60周年記念講演会が行われました。

講師には映画『奇跡のリング』で知られている、木村 秋則 氏をお迎えし、『信念～やりとげる勇気～』という演題で講演をしていただきました。無農薬栽培に取り組むも失敗の連続で、周りからも非難の目が向けられるなど、苦悩の日々を送り続けていたことを語ってくれました。「しかし、中でも学ぶことや得るものがたくさんあり、いつか必ず実ると信じて無農薬栽培を続けてきた」という木村 秋則さんの言葉から、強い信念が伝わってきました。

また、自分自身の経験を踏まえた上で、「壁にぶつかったとしてもすぐに諦めるのではなく、立ち止まってよく考え、自分の進むべき道を自分自身で決めて切り開いてほしい」と語りかけていました。生徒たちの胸にもこの言葉は響いていたと思います。

普段の学校生活をより充実なものにしようとか何か打ち込んだり、将来の夢や進路を考えたりする際には、この言葉を思い出しながら前向きな姿勢で頑張っていきたいです。

木村 秋則さん、講演していただき本当にありがとうございました。



光星高 一戦必勝で挑んだ選抜



3年連続9回目の出場になった第88回選抜高等学校野球大会は、一戦必勝を合言葉に挑みました。選拔出場の発表後に学院長の中村キヤ先生がお亡くなりになられたこともあり、甲子園で校歌を歌えるようにと強く覚悟を持ち戦ってきました。1回戦を勝ち進み、2回戦は一昨年に敗れた龍谷大平安高校との対戦となり、両校5安打ずつで無失策の大変締まった好試合でしたが0対2でまたしても敗れてしまいました。この試合では平安高校の伝統の力や野球の厳しさなど、スコア以上に力の差を感じさせられました。本校は選抜大会では3年連続で2回戦の壁に阻まれてしまい、この壁を打破するために今まで以上に鍛錬していかなければならないと実感しました。全国制覇への道のりは険しいものではありますが、これからも挑戦し続けたいと決意しました。多くの方々の支えにより、野球をやらせていただいているという感謝の気持ちを忘れずに日々鍛錬していきたいです。ご声援ありがとうございました。(硬式野球部 監督 仲井宗基)

光星高 全国高校選抜レスリング大会結果報告 [3/27~29]



新潟市で行われた第59回全国高校選抜レスリング大会に出場しました。学校対抗戦では、一回戦、一進一退の攻防の中で、ワンチャンスをものにすることができました。粘り強い戦いでの勝利は、大変収穫になりました。二回戦では、今大会の優勝校である鹿屋中央高校との対戦。主将の齊藤が格上の相手に対し、接戦の戦いをしたことでチームの自信に繋がりました。結果は、完敗でしたが、今後に繋がる試合内容であったと思います。個人対抗戦では、目標にしていた上位入賞には届きませんでしたが、確実に実力をつけていることを実感できました。勝利を掴む闘いは、繊細で厳しいということを踏まえ、昨年度を越える結果を目指します。我々の目標は、全国制覇。そのために、「今日の一步」を全力で取り組みたいと思います。応援して下さい。皆様心より感謝申し上げます。(レスリング部 監督 金淵清文)

専攻科 平成27年度企業説明会 [2/25]



本校自動車科1年生を対象に八戸学院大学会館において県内外13社の参加を得て企業説明会が行われました。この説明会の目的は、学生の進路に対する意識の高揚を図るものであり、毎年この時期に実施し学生の就職先選択に大いに役立っています。リクルートスーツ姿の学生達は、自分達が就職試験にチャレンジするための情報を得ようと終始真剣な表情で取り組んでいました。「インターネット情報よりも、直接知りたい情報を得ることができた。」「仕事内容を詳しく知ることが出来た。」等の感想がありました。

専攻科 平成27年度 介護事例検討報告会 [2/29]



介護福祉科による介護事例検討報告会を開催し2年生13名が、介護実習での学びを報告しました。介護実習は6月と11月に各5週間、特別養護老人ホーム、障がい者支援施設などで実施しています。施設の利用者との関わりをふり返り、各自でテーマを決め、介護の専門性を活かした内容でまとめ上げました。今回からパワーポイントを活用しての発表も取り入れ、新たなことへの挑戦に苦戦しながらも仲間達と協力し合いながら取り組む姿に2年間の成長を感じました。この報告会では1年生も聴講し、事例検討に対する動機づけとなり有意義な時間を過ごすことができました。ご支援ご協力いただきました各事業所の皆様に深く感謝申し上げます。

介護福祉科による介護事例検討報告会を開催し2年生13名が、介護実習での学びを報告しました。介護実習は6月と11月に各5週間、特別養護老人ホーム、障がい者支援施設などで実施しています。施設の利用者との関わりをふり返り、各自でテーマを決め、介護の専門性を活かした内容でまとめ上げました。今回からパワーポイントを活用しての発表も取り入れ、新たなことへの挑戦に苦戦しながらも仲間達と協力し合いながら取り組む姿に2年間の成長を感じました。この報告会では1年生も聴講し、事例検討に対する動機づけとなり有意義な時間を過ごすことができました。ご支援ご協力いただきました各事業所の皆様に深く感謝申し上げます。



桜の木の下で [4/22]

校舎前の桜の木の下で昼休みを楽しむ自動車科の2年生。即戦力として活躍できるよう資格取得に向けて頑張っています。



野西高 スキー教室 [2/26]



国設馬門温泉スキー場で恒例のスキー教室が行われました。午前中は、同スキー場のインストラクターから、スキー・スノーボードのレクチャーを受け、午後は自由滑走と、雪が降ったりやんだりの不安定ながら、時折雲の間から差す日の光を浴びて、生徒たちは元気にシーズン終了間近の一日を楽しみました。

雨水も過ぎ、暖冬と言われ雪解けもだいふ進み実施も危ぶまれましたが、前日から寒波到来で雪をもたらし、この時期としてはベストコンディションとなりました。最初は不満げな表情をしていた生徒も笑顔が見られ、グループの仲間と有意義な時間を過ごしたようでした。

*雨水(うすい)・・・二十四節気の一つ。
雪氷が解け雨や水になる頃。平成28年は2月19日。



卒業演奏会 [1/27]



人間福祉系列3年生による卒業ピアノ演奏会が、3年間の集大成として行われました。

とても緊張し、普段間違えない所でのミスなど悔しい思いをする生徒も見られましたが、終わると緊張か

ら開放され笑顔がこぼれていました。

鍵盤の位置を覚える所からのスタートでしたが、演奏会での達成感、継続する大切さを実感できたようです。また聴講している1、2年生は「次は自分たちの番だ」と緊張する。」と話していました。



野西高 上級救命講習会 [3/14~15]

本校で上級救命講習会が行われ、生徒たちは真剣な面持ちで、野辺地消防署救急隊員からの指導を受けました。一日目心肺蘇生法・AEDの使用法、二日目搬送法・三角巾の使用法などを学びました。

二日目の三角巾の使用法では、自分の足に巻いたり、受講者同士で巻き合ったりして、緊急時の手当の方法に理解を深め合っていました。両日の講習後、実技試験などを受け、受講者全員が修了証を受け取りました。



イベント情報 平成28年5月～8月

八戸学院短期大学附属幼稚園

▼運動会
6/12(日) 9:00～12:30
会場:八戸学院短期大学前グラウンド
(雨天時:八戸学院体育館)

▼星の子祭&夕涼み会
7/24(日) 14:00～17:30
会場:八戸学院短期大学附属幼稚園

八戸学院短期大学附属幼稚園 聖アンナ

▼運動会
6/26(日) 9:45～12:00
▼オープンスクール
6/1(水)、7/13(水) 10:00～14:00
▼夏の季節祭
7/24(日) 12:00～15:00(予定)

八戸学院短期大学附属幼稚園 第二しののめ

▼運動会
6/26(日) 9:30～11:30
▼夏祭り
7/23(土) 13:00～17:00

イベント情報 平成28年5月～8月

八戸学院短期大学附属幼稚園

【星の子キッズクラブ】登録制
・チッチクラス(生後3ヵ月～1歳半)
10:15受付 5/11、6/8、7/14、8/24
・プレスクール(満2歳児になるお子さん)
9:00～11:30 6/17・21・28
7/1・5・12、8/23・26
・ステラクラス(1歳後半～入園前のお子さん)
10:00受付
水曜日コース 5/18、6/15、7/6
木曜日コース 5/19、6/16、7/7
土曜キッズ(自由参加) 5/28、6/25
水木合同 5/25、6/29、8/31



八戸学院短期大学附属幼稚園 聖アンナ

【めだか学級】予約制 10:00～11:30
5/24、6/7、7/5、8/30
【ベビーマッサージ】予約制 10:00～11:30
ねんねクラス(対象年齢2～6ヵ月) 5/25、8/31
はいはいクラス(対象年齢7～11ヵ月) 6/12
よちよちクラス(対象年齢12～24ヵ月) 7/7

八戸学院短期大学附属幼稚園 第二しののめ

【ポケット広場】自由参加 10:00～12:00
5/19、6/3・4、7/2・6、8/6

附属 親子食育体験イベント [3/8]

ハウス食品グループと洋野町の「ひろの屋」と八戸学院地域連携研究センターが行っているプロジェクトの一つである食育イベントに参加しました。鯉節で出汁を取り、スパイスを調合して、親子でカレーうどんを作りました。出汁やスパイスで塩分の取り過ぎを抑え、おいしく健康的な食事を、講話や体験から楽しく知ることができました。



カツオの模型を使って、鯉節に使う部位を紹介されている『静岡屋』だしソムリエの金子さん。「魚がこんな(鯉節)になるのぉ〜」と、子どもたちから驚きの声!



スパイスを一つ一つ手に取って、香りや味について紹介されているハウス食品スパイスマイスターの三宅勇緒さん。「初めての匂い!」「変な味だな」など、感覚を刺激された子どもたち。



鯉節で出汁を取り、スパイスを調合して、親子でカレーうどん作り。



完成したカレーうどんの試食は、「おいしいね」と、親子でお腹いっぱい笑顔いっぱいになりました。

附属 年少組の育ちを追って～春～

新入園児を迎えて、いよいよ今年度がスタートしました。新しいお部屋で、新しい先生やお友だちと一緒に楽しく生活しながら、できることを積み重ねて成長していく年少組の育ちをご紹介します。



朝の会でご挨拶
「おはようございます」



ピアノに合わせて歌います
「♪やねよりた〜か〜い、
こいの〜ぱり〜♪」



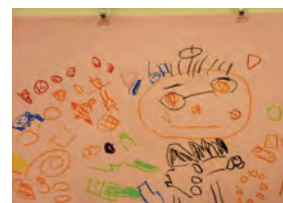
広い園庭で、元気いっぱい外遊び。



「ばい菌やっつけるぞ!」
上手に手洗できるかな?



給食は、みんなで一緒に
「いただきます。」



年少組になって、初めての自由画です。
紙いっぱい、大きく、伸び伸びと描きました。

第二しののめ 初めての給食



今年度も給食がスタートしました。「どんな給食がでるのかな?」「お野菜食べれるかな?」とドキドキ・ワクワクの子どもたち。初めてのメニューは、ロールパン、ウィンナーと野菜のソテー、マカロニサラダ、牛乳でした。たくさんおかわりをして、年長児は全員が完食しました。年中、年少、満3歳児も苦手なものにも挑戦し、おいしく食べました。これからも「楽しく食べる」ことをねらいとして食育活動を広げていきたいと思っています。



第二しののめ 夢が広がるお話しと音楽で交流 [3/10]



八戸学院短期大学田端ゼミのお姉さんが「ヘンデルとグレーテル」のお話と音楽を披露してくださいました。プロジェクターに移った手書きのオリジナル感と各場面に合った素敵なメロディーに聞き入りました。

子ども達とお姉さんと一緒に手遊びをしたり、楽器の音当てクイズをして楽しみました。

これからも八戸学院短期大学との連携を通して音楽に触れ、学生との交流を深めていけたらと思います。

聖アンナ 春を待つ子どもたち

チューリップとスイセンの枝切りをしました。丁寧に切っていく姿が見えました。

切った球根はプランターに植えました。大きくなるのが楽しみです。



ここに植えようかな。

芽を切らないように。

聖アンナ 新入園児を迎えて…

あっという間に桜の木も緑に変わり、園庭は、たんぽぽでいっぱいになっています。

新入園児のお友達も、少しずつ緊張がとけ、先生やお友達とお話をしたりしながら、笑顔で過ごしています。



くつしたは……あった!これ!



こぼれたら、あこぼし紙に拾って集めるよ

八戸学院 NEWS

平成28年
2月～4月

入学おめでとう！

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ・八戸学院大学・短期大学 入学式 | 4月 6 日 (水) |
| ・八戸学院光星高等学校 入学式 | 4月 7 日 (木) |
| ・八戸学院野辺地西高等学校 入学式 | 4月 8 日 (金) |
| ・八戸学院短期大学附属幼稚園第二しのめ 入園式 | 4月 8 日 (金) |
| ・八戸学院短期大学附属幼稚園 入園式 | 4月 9 日 (土) |
| ・八戸学院短期大学附属幼稚園聖アンナ 入園式 | 4月 9 日 (土) |
| ・八戸学院光星高等学校専攻科 入学式 | 4月 10 日 (日) |

出会いと別れ...
希望の春

大学・短大



記念すべき看護学科第一期生

光星高



新しい制服に身を包み緊張の面持ち

光星高



感謝の気持ちを込めて後輩からの贈り物

大学・短大



一人ずつ手渡される学位記

専攻科



「入学おめでとう」のおもてなしの心から生まれた
在学生手作りのコサージュを胸元に

野西高



生徒宣誓「本校のよき生徒として、
校名をはずかしめないよう、努力することを誓います」

野西高



学校長賞授与

専攻科



卒業生へ保護者による
フラワーシャワーのサプライズ

附 属



お名前を呼ばれたら
元気に「はい！」

第二しのめ



先生の手遊びで緊張もほぐれ
みんな笑顔に

聖アンナ



新しく聖アンナのお友だちになった
一人ひとりの名前を読み上げました

聖アンナ



卒園児は、線上歩きを披露
身体と心をコントロールすることで
集中力が養われました

第二しのめ



附 属



3年間で心も体も大きく成長しました

♪さよならぼくたちのようちえん～♪と
歌声が会場を包み込みました



INTERVIEW

八戸から世界へ！

新しい物への探求心を大切に

八戸大学(現八戸学院大学)時代に、サークル活動でインターネットを活用した農作物の販売やQRコードによる生産者情報の紹介、学生が持つキャンパスパソコン(以下PC)のサポート業務に携わることでPCの基礎知識を身に付けました。

現在、企業および学校のPCセットアップやサーバーセットアップを行っており、一度に100台のPCのセットアップを行うこともあります。セットアップは、担当者の方と時間をかけて打ち合わせを行い実施するので、全てのパソコンが無事起動した瞬間は、大きな達成感と安堵感で満たされます。

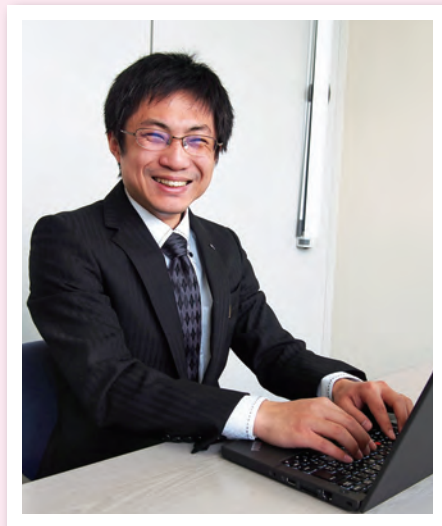
この職種は、向上心がなくなるとそこで自分の技術や知識も止まってしまいます。PCの進化は目覚ましいものがあり、進化に合った技術や知識などのスキルアップが求められます。(株)ビジネスサービスでは、資格取得などスキルアップのためのサポートも充実しており、目標達成の際には表彰をはじめ、様々な形で評価してもらえるため、モチベーションアップにも繋がっています。これからも、アンテナを張り巡らせ、新しい物に興味を持ち触れることで自分の技術や知識に磨きをかけていきたいと思っています。

【後輩へ贈る言葉】

好奇心を持ち続けることが大切だと思います。物事に興味を持ち探求しようという気持ちが自己成長に繋がります。様々なことに興味を持ちチャレンジしてください。

プロフィール

八戸大学(現八戸学院大学)商学部 平成18年3月卒業。
平成19年 株式会社ビジネスサービス 入社



小山田 春樹氏
Haruki Oyamada

株式会社ビジネスサービス
八戸支店



小山田さんと八戸短期大学(現:八戸学院短期大学)卒業の小林さん(右側)、八戸学院大学卒業の工藤さん(左側)
工藤さんは今年4月に入社したばかり。同じ大学出身者の存在は良い刺激になります。

今回の職員ファイルでは、4月より八戸学院大学に着任された先生方を紹介します。

職員 ファイル

⑤

①専門分野 ②担当科目 ③コメント



八戸学院大学ビジネス学科
准教授 **高須 則行**

- ① 法哲学
- ② 商法 他
- ③ 「汝、自身を知れ」 この言葉をモットーに、「社会の中の一員である私たちは、社会とどのように関わり合っていくべきか」を皆さんと共に考えていきましょう。



八戸学院大学ビジネス学科
准教授 **柴垣 博孝**

- ① 国語・漢文、教育学
- ② 日本語リテラシー 他
- ③ 格物致知を以て勉学の旨と為し、亦ライフ・キャリアを以て人生の旨と為すべく切磋琢磨して道を拓いて行きましょう。



八戸学院大学人間健康学科
講師 **山本 雄大**

- ① 心理学
- ② 健康心理学 他
- ③ 三陸海岸の南端、宮城県石巻市出身です。八戸から三陸全体を明るくできるような精一杯がんばります。



八戸学院大学人間健康学科
助教 **綿谷 貴志**

- ① スポーツバイオメカニクス
- ② スポーツバイオメカニクス 他
- ③ 指導の現場とスポーツ科学との融合を目指し、日々の活動に全力で取り組んでいきたいと思っています。



八戸学院大学看護学科
教授 **木村 紀美**

- ① 成人看護
- ② 成人看護学概論 他
- ③ 東津軽郡平内町出身です。北京幼稚園途中で引き揚げてきました。青森県内で八戸地区だけが看護系の大学が無く、寂しく思っていました。私のささやかな今までの経験を活かしながら皆さんとともに看護学科の存在を強めていきたいと思っています。



八戸学院大学看護学科
助手 **古舘 美喜子**

- ① 公衆衛生看護学
- ② 臨地実習
- ③ この度ご縁あり4月1日よりこちらの大学にお世話になる事となりました。大学、学生と共に成長していきたいと考えています。よろしくお願いします。



八戸学院大学看護学科
助手 **清塚 智明**

- ① 高齢者看護学
- ② 臨地実習
- ③ 生まれ育った八戸で看護教育に携われることを大変光栄に思います。どうぞよろしくお願いします。



八戸学院大学看護学科
助手 **松村 ひとみ**

- ① 在宅看護学
- ② 臨地実習
- ③ まだまだ未熟者ですが、学生の皆さんへ看護の魅力を伝えていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

幼稚園3園 合同研修会・懇親会 [4月9日(土)]

3 幼稚園の合同研修会に呼んでくださりお話しする機会を設けていただいた。

先生方は毎年、年度始めに勉強会を開き、1 年の目標を立て熱心に取り組んでいる様子が理解できた。ご苦労様です。更なる研鑽を積み、明るく元気な幼稚園の運営に貢献していただきたい。

続いて開かれた懇親会にも参加し、楽しい一時を過ごすことができた。感謝。



於：八戸プラザホテル

訪問 [4月20日(水) 光星高校]



満開の桜と光星高校

今朝久しぶりに高校の生活に参加した。校長時代を思い出して、登校時間に玄関の前に立ってみた。穏やかな朝で、平成19年の新校舎完成時に大通りに沿って植えたソメイヨシノが、8年の歳月を経て成長しピンク色の満開であった。

登校する生徒も新任の先生も初々しく皆元気に挨拶を交わしてくれる。爽快な気分になる。ソメイヨシノはこんな朝の生活をずっと見守ってくれるだろう。

訪問 [4月20日(水) 幼稚園第二しののめ]

美保野に向かう途中、第二しののめに寄り道した。天真爛漫、やんちゃな子供達が登園して来る。賑やかな一日が始まった朝の教室に子供を抱きかかえ、手を引き、奮闘する先生たちがいた。明るく元気に成長していく子供達に関わる先生に感謝。



第二しののめ登園風景

平成28年度

辞令交付式 平成28年4月1日

日々、本学院のためにご尽力くださっている教職員の皆様が一堂に会し、ここに新年度がスタートできましたことを心から感謝申し上げます。

法人は、間もなく創立60年を迎えますが、今までその時々時代の背景や地域のニーズに応じて変化、成長してまいりました。

創設者中村由太郎先生は、「地域の発展は教育にあり」と昭和31年湊町に高等学校を創設、39年女子を受け入れ男女共学となり、50年代は9学科編成で2千名を超えるマンモス校の時代を経て多くの卒業生を輩出し、湊高台キャンパスとして発展しました。野辺地キャンパスには、昭和48年野辺地工業高校(現野辺地西高校)が開校し、専門学校、幼稚園も開設しました。

そして、美保野キャンパスは昭和46年短期大学の創設、56年には4年制大学を開学、高等学校専攻科、各種施設の整備を進め、現在は多くの学生、教職員が生活するキャンパスに成長しました。初代理事長が掲げた「立体的学園構想」に基づき、学院の建設を引き継ぎ、改革を推進して参りましたが、今、また本学院の未来を考える時が来ています。

21世紀を「命の世紀」と位置づけ、本学院がこれまで培ってきた力を以って、唯一無二の個性の伸長を図り、豊かな人間と社会に有為な人材育成を使命役割と捉え、「全人教育」を以って運営に当たりたいと考えます。



理事長
散策

法官新一
Shinichi Hogan



大学会館520講義室



「源深ケレバ流レハ遠シ」 小原國芳 書



マンサク(万作・満作)



マンサクの花



作法室



庭

光星高校の作法室を紹介します。
かつて普通教室であった4号館
1階にリニューアルされた和室が
あります。年間を通して茶道、華道、
礼法の授業に活用され、普段は正
座する機会の少ない生徒たちもこ
の部屋では慎ましく、畳の感触を
味わっています。

また、この部屋の外窓にそって
障子が据えられ小さな庭が備わっ
ています。小さいながらも工夫さ
れたこの庭には、様々な庭木が植
えられ、和室と相俟って雰囲気
を醸し出しています。

春の日差しをうけた障子を開け
ると、「マンサク」の花が黄金に輝
き満開を迎えていました。名前の
由来は、他の花に先駆けて、「まん
ずさく」が訛ってマンサクとなっ
た説と、枝いっぱい花を咲かせ
るので「豊年満作」から取ったとも
言われています。

(和名 万作・満作・金鏤梅^{きんるばい})

八戸学院光星高等学校

